



西消防団 伊川谷支団

支団長 渋谷富喜男 さん

地域の頼れるリーダー

〈執筆〉西消防団 伊川谷支団

藤井 一

神戸市西区伊川谷町は、明石川の支流と伊川の流域を占めており、神戸市沿岸部で一番面積が広い地域です。地形は東西に長く、東は住宅地、南・北部は農地、西部は明石に続く市街地で形成されています。

また、歴史的にも古い地域であり、文化財や国宝が複数残っています。中でも、南北朝時代の南朝方の繁栄をしのばせる、国宝に指定された大規模な本堂を持つ太山寺は、特に有名です。

このように、文化財や国宝を多く

抱える土地柄であるため、西消防団の防災に対する意識は極めて高く、常に住民の安全・安心・財産を守るために備えています。

この8分団、232名で構成される西消防団伊川谷支団を中心となつてまとめているのは、もちろん、渋谷支団長です。

渋谷支団長は、昭和44年に伊川谷消防団に入団し、兵庫県のパンプ操法大会の選手として素晴らしい成績を収めた功績から、本部役員に抜擢されました。その後、団長を助け、良き指導者として率先して消防団員として務められ、今年の春に支団長に就任されました。

消防団活動のみならず、私生活では、有機農



法の普及に携わっておられる渋谷支団長。海外の研修生を受け入れ、指導するなど、農業発展のために、グローバルに貢献されています。また、地域での信頼も厚く、自治会長と農会会長を兼任されており、地域に多大な貢献をされています。このような多忙な毎日の中でも、温厚で優しく、繊細な気配りで周囲に接してくださっています。

今、わが消防団は、組織再編に伴う難題が多く、過渡期にあります。渋谷支団長の持ち前のリーダーシップで、より安心・安全なまちづくりの実現へと導いてくださることでしよう。これからも、われわれ団員は一致団結し、渋谷支団長を支え、地域の安全のために、さらに力を尽くしていきます。皆さま、今後とも応援、よろしくお願いします。